

新たな時代に対応し 持続的発展を



神奈川県内陸工業団地協同組合
理事長 柴崎 安弘

組合員並びに関係各位の皆様、新年明けましておめでとうございます。コロナ禍に負けず、お健やかに新年を迎えにあられた事、心からお慶び申し上げます。

昨年は、日本を始め世界中にとつて大変な苦難の年でした。経済は一部の国を除いて急ブレーキが掛かってしまいました。今年は、やむを得ず延期になった「東京オリンピック」が開催される予定ですが、国内での感染者数は週毎に全国各地で記録更新しており、開催されるかどうか予断を

許さない状況です。政府は感染者増加が著しい1都3県に昨年4月以来2度目の「緊急事態宣言」を発出する予定です。日本経済は、ようやく大企業の自動車関連製造業を中心に回復の兆しを見せるなど、好転して来たところだけに非常に残念です。

しかし、明るいニュースもあります。新型コロナウイルスに対する「ワクチン接種」が2月下旬から始まるこの事です。安全性・有効性の問題で改めて感じています。

コロナ禍でも時流を捉え 各種取り組みを推進

さて、当組合の主要な活動であります。昨年6月の通常総会は、規模を縮小し、時間を短縮するなど感染症対策のうえで開催いたしました。

また、例年、行政や経済など各界から多くのご来賓をお迎えして盛大に開催する新年の賀詞交換会は、遺憾ながら中止とさせていただきます。

さらに、特別委員会に於いて重要度と緊急性に絞って検討した組合会館の建設につきましても、先送りせざるを得ないと結論に至り、期待いただいた皆様には申し訳ありません。



明けましておめでとうございます。会員並びに関係者の皆様には、お健やかに令和3年の新春をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症による人智を超えた猛威に驚愕し、東京オリンピックの延期、緊急事態宣言発出による外出規制など予想を超えたリスクの重大さを改めて思い知らされました。

本県でも感染者の増加による、経済に与えた影響は大きく、サプライチェーンの寸断、風評被害、海外経済の減速、インバウンドの低迷が、産業の空洞化を加速化させており、企業経営は翻弄され続けています。

それだけに、感染防止

だんち
だより

第95号

2021年(令和3年)1月15日発行



謹賀新年

年頭のご挨拶

神奈川県中小企業団体中央会
会長 森洋

策や感染症収束後の支援を含め、経済再生のため日本全体が一丸となり、息の長い取り組みへの覚悟を問われる年となったといえます。

そして、こうした厳しい状況を自助・公助はもとより、お互いの力をあわせて乗り越えていく「絆」や、「共助」の大切さを改めて確認した一年でもありました。

まさに、私も中小企業組合の基本は、明日への希望・チャレンジへの源泉となる相互扶助の精神であり、改めて中小企業の連携組織の存在意義と有効性が、真に評価されるときが来たといえます。実際、中小企業組合という絆の力が発揮され、共同事業再構築や成長分野をキースとする新たな事業を展開する気運も生まれてきております。

本会として、新たな年を迎え、コロナ禍の中での支援方法を模索しながら、神奈川県や国の中小企業施策を活用し、一つでも多くの成果



に結びつく新たな連携事業、組織づくりや中小企業の経営革新などに取り組みます。時代の変化に対応する中小企業組合及び中小企業の皆様から、ご満足していただく支援を目指し、県内中小企業の振興・発展に全力を傾注してまいります。

さて、本年11月25日には27年ぶりに神奈川県「中小企業団体全国大会」を開催いたします。コロナ禍を乗り越え中小企業の更なる成長、発展の契機となるような、神奈川県らしい大会を目指してまいりますので、会員及び関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

皆様には、昨年にお変わりなくご支援、ご協力をお願い申し上げます。に、ご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

災害に備えて共同防災訓練を実施

11月25日 感染症対策で規模を縮小



共同防災訓練の様子①団地会館前に災害対策本部を設置②厚木市や愛川町と無線機で連絡③受付で情報を確認④カセットガスボンベを使った発電機を実際に使用して動作確認

災害対策本部を設置
情報伝達などを確認

当組合では、今年度も共同防災訓練を11月25日に実施いたしました。例年、多くの会員事業所にご参加いただく訓練ですが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、規模を縮小して行いました。この日は、午後1時10分に大地震が発生した想定で訓練を実施いたしました。

災害対策本部

訓練では、団地内のブロックごとに被害状況を確認し伝達する訓練も実施（写真：岩井機械工業様）

した。密閉空間を避けるため、団地会館駐車場に災害対策本部を設置。厚木市や愛川町の危機管理担当課との無線連絡のほか、資機材の確認が行われ、昨年度から導入したカセットガスボンベを使用する発電機を使用し、動作確認や、非常照明の点灯などをチェックしました。

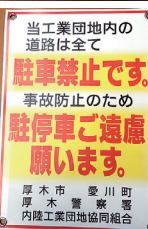
また、災害時の対応では、災害時の地域に分け、それぞれの地域の被害状況確認なども行われました。

コロナ禍では、災害時の対応も例年通りとはいきません。当組合では、今後も災害対策についての体制づくりや情報発信に努めてまいります。

団地内道路の環境と美観の向上にご協力を

2種類の看板を
作成いたしました

内陸工業団地では、団地内道路での長時間の待機車両や、ゴミのポイ捨てが課題となっております。これを受け当組合では、厚木市、愛川町、厚木警察署と連携し、連名で啓発看板を作成いたしました。団地内道路の街路樹等に、順次設置してまいります。



事務局より

新年明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスの影響により、組合員企業の皆様におかれては、生産調整・営業活動の自粛・時差出勤・テレワークなど、様々な対策や対応に追われた一年だったと思います。組合事業においても会議の中止や研修会の延期など感染拡大の防止に努める一方、団地内道路での長時間駐車対策やゴミのポイ捨て防止対策など、新たな取り組みも始めたところです。

年末年始休業中に新型コロナ感染の縮小に期待していたところですが、拡大に歯止めはかからず、緊急事態宣言が発出される事となり、対策は暫くの間続けなければならない状況です。組合としてはテレワーク・リモート会議に対応可能な環境を整えるため、会館3階の会議室にWi-Fi環境を整備しました。ぜひ、ご利用いただきたいと思います。

ウイルス拡大を防止しながらの経済活動の推進という困難な状況を組合員企業一丸となって取り組み、組合の付加価値向上に繋げていく時と考えています。手洗いとうがい、そしてマスクの着用を続け、体調管理には充分にご注意いただきたいと思います。今後も事務局一同、組合の発展と組合員企業の皆さまのご繁栄のため、努力を続けますのでどうぞよろしくお願いいたします。

内陸工業団地内で清掃活動が行われました



内陸工業団地の区域内道路で昨年11月14日、大規模な清掃活動が行われました。当組合では、環境に配慮した美しい工業団地を目指し、継続的な清掃活動を実施しております。今後もポイ捨て防止に向けた啓発看板の設置など、注意喚起に努めてまいります。



愛川町シルバー人材センター

当組合からの委託事業で、愛川町シルバー人材センターによる清掃活動が行われました。場所は、西通りの西4丁目交差点から東4丁目交差点までで、ペットボトルやお弁当の空き容器など約10kgのゴミを回収いたしました。

神奈川県トラック協会 県央サービスセンター様

（一社）神奈川県トラック協会県央サービスセンター様によるボランティア清掃活動が行われました。16社から55人が参加いただき、団地会館から中1丁目交差点を経て、中4丁目交差点までを清掃し、約110kgのゴミを回収していただきました。